

事務事業名 総合保健福祉センター管理運営事業

出力日：令和07年03月18日

キーコード：356

施 策：	09	健康づくりの推進	財務コード	01040105-01-304
基本事業：	99	施策の総合推進	担当部	健康福祉部
基本事業の 成果指標			担当課	健康推進課
			担当係	健康企画担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成10年度	～	新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1．対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2．手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
総合保健福祉センター利用者			カミリーヤの基本的な管理・運営に関すること						
3．意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【事業開始年月日】H10.11.1～ 【運営主体】健康推進課、社会福祉協議会(老人福祉センター)、JA筑紫(デパート)、障がい者団体(レストラン) 【委託業務】総合施設管理、中央監視装置保守点検、消防設備保守点検、施設清掃、電気保守業務、塵芥処理、電話交換機保守、樹木管理、花壇管理 【機器借上】NHK受信料、有料放送使用、レンタル、トイレ洗浄器、キャッシュレス決済アプリ使用料 【休館日及び利用時間】休館日：毎月第3月曜日(祝日と重なるときは第4月曜日)、12月28日から翌年の1月3日まで						
筑紫野市総合保健福祉センター「カミリーヤ」の設置目的を果たすため、利用者が安全で快適に利用できるよう、円滑な運営を図ることを目的とする。									
4．成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	04年度 実績	05年度 実績	06年度 当初	07年度 要求	08年度 計画	09年度 計画	目標
年間利用者数		人	130,263	148,089	160,000	160,000			160,000
1日あたり平均利用者数		人	376	427	457	457			457
5．コスト									
事業費	計	千円	104,650	103,502	114,316	116,918			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	9,551	10,581	15,355	11,161			
一般		千円	95,099	92,921	98,961	105,757			
正職員人工数		人工	1	1	1	1			
正職員人件費		千円	7,728	7,815	8,023				
トータルコスト(事業費＋正職員人件費)		千円	112,378	111,317	122,339	116,918			
6．成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
○あがっている	<状況> 利用者が、前年度比で17,826人増加しており、令和3年度より年々増加している。 <原因> 新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に位置付けられたことに伴い、新型コロナウイルスワクチン接種会場で使用しない部分はコロナ禍前と同様の条件での貸館及び利用を開始したことが考えられる。 <課題> 高齢者は新型コロナウイルス感染症の重症化リスクが高いことから、利用者の感染防止対策を十分に図りながら運営を行う必要がある。								
●どちらかといえばあがっている									
○あがっていない（停滞・低下）									
7．評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	施設の老朽化に伴い、修繕料などの維持コストが増えていることから、計画的に更新作業をおこなう必要がある。					
手段効率化余地	あり	コスト削減余地	あり						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	中程度								
8．改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）				■改善方向性		●維持 ○見直し ○廃止 ○事業終了			
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
老人福祉センターの設備維持管理業務を総合保健福祉センターの維持管理契約と一本化することによる、コスト削減の検討を予定している。				老人福祉センターを含めた、総合保健福祉センター全体の指定管理者制度について、住民サービスの向上やコスト削減策をまとめ、実施に向けての可能性を探索。					
■事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）				■備考・特記事項 or 進行管理欄					
平成10年11月のカミリーヤ開館から26年が経過している。施設本体や使用機器の老朽化により、修繕費用や買換え費用が緊急的に発生するケースが増加している。									